

走行チェックシート

日付	Sunday, May 11, 2008	日	時間	～	イベント	全日本ロードレース選手権 R2	
天気	曇り		マシン	GSX-R600 K8	ライダー	新庄 雅浩	
コース	名称	筑波サーキット			気温	℃	
	コンディション				気圧	hpa	
	路面温度	(計測時間)			湿度	%	
エンジン	スパークプラグ	NGK		エンジンOIL	シェル アドバンス		
	ファイナルレシオ	15 x 45					
トランスミッション	1st	39/14	2.785	4th	36/24	1.5	
	2nd	39/19	2.052	5th	31/23	1.347	
	3rd	36/21	1.714	6th	29/24	1.208	
フロント	パーツ名	オーリンズ		TEN	-7		
	スプリング	9.75	N/m	OIL			
	自由長			油面	180	mm	
	イニシャル	12	mm	残ストローク	10	mm	
	COMP	-1		突き出し	5	mm	
リア	パーツ名	オーリンズ		TEN	-17		
	スプリング	95	N/m	残ストローク	30	mm	
	自由長	159	mm	リンク	(STD)		
	イニシャル	8.5	mm	リンクロッド	180(STD)	mm	
	OMP(HI)	なし		車高	3	mm	
	OMP(LO)	-12					
タイヤ	フロント			リア			
	銘柄	ダンロップ スポーツMAX GP (R4)		銘柄	ダンロップ スポーツMAX GP (R1)		
	サイズ	120/70R/17		サイズ	180/55R/17		
	エア圧	1.8		エア圧	1.8		
チェック	順位	予選17位 決勝リタイヤ	位	ベストラップ	予選 WET 1'05"059 決勝 ハーフWET ナシ		
	水温			油温	℃		
	ガソリン	IN	ℓ		走行距離	km	
OUT		ℓ		燃費	km/ℓ		

<コメント>

応援に来て下さった方ありがとうございました。そして、本当にごめんなさい・・・。  
 なんじゃこりゃ！！という、結果で、なんと、MOTOMAP SUPPLYは、地元筑波で、まさかのノーリザルトしかも3人中3人とも。  
 という訳で今回はレースについて書く事はなしです。  
 そのかわり、今年からMOTOMAPのメンバーに加わった、全日本1年目デビューイヤーの新庄 雅浩について書いてみましょう。  
 1984年7月23日生まれの23歳。  
 デビューイヤーにしては、今時のミニバイク上りのライダーより、ちょっとだけお兄さんかもしれませんが、なんと初めてオートバイに乗ったのが19歳ということを考えれば順調に来た方もかもしれません。  
 実は、この新庄 雅浩の実家はご存知の方も多いと思いますが、オートバイ業界で有名な、あのオートボーイなのです！！  
 ということは、かつての8耐でも活躍された、国際A級ライダー新庄 裕さんのご長男なのです。  
 といえばサラブレッドばいですが、19歳でオートバイに乗るまで何といましようか・・・。  
 かなり、自由奔放でいろいろな社会勉強を積み、あるときなにを思ったか19歳のとき単身ニュージーランドに渡り、楽しいことも、危険なことも、経験している人々と出会い多くのことを学んで帰国しました。  
 そして、それまでやんちゃを繰り返してきた雅浩少年は、人と人とのふれあい、優しさ、支えあって皆生きている事を知り真心の心、彼の現在のトレードマークにもなっている、誠の心「誠心」という言葉が座右の銘となったわけでありませう。  
 それからは、見向きもなかったオートバイに興味を持ち「おやじっ！！おれに、レースをさせてくれ！！」とミニバイク、モテ耐、ダートトラック、ロードレースとプライベートもお金もすべて、レースにつき込み、親譲りの才能と人一倍の努力を重ね、ST600デビューわずか1年目で、筑波選手権チャンピオン、茂木にいたっては全戦で、1度たりともトップを渡すことなく優勝をして見せ、パーフェクトでチャンピオンを獲得、関東エリア選手権では、なみいる国際ライダーを相手に途中出場ながら、最終ラウンドまでチャンピオン争いを繰り返し、惜しくもランキング2位と活躍しそして今年から活躍の舞台を、全日本としたわけですね。  
 性格はとにかく、礼儀正しく思いやりがあり、常に周りに気を配りそして、とても熱い心を持った青年です。  
 エピソードとして、彼がRACING SUPPLYのクラブ員だった昨年、普通に走ればチャンピオン確定のレースなのに、チャンピオンが決まったレースで泣き、2位で終わったレースでも、「今から、もう1度レースをやりなおそう！！」と泣きながら悔しがったりということがありました。そして、常に前向きで自分がどんなに不利でも先輩格のライダーを例に挙げ、誰々選手だったら同じバイクでもっと、タイムがだせる！！と勝手に自分でがんばってみせませう。言ったり、初めてのコースはぐるぐると、100周走り倒したり、とてもガッツあふれるルーキーです。  
 本人の言葉で「全日本は楽しい！抜かれるのが楽しい！！だって、抜かれたら追いかけに行けばレベルアップ出来るから！！！」というのがあります。それは、まだまだ経験が浅くST600をわずか1年で全日本に上がった、まだまだ未完成なライダーとしてこれからもっと、経験を積み成長して行きたい！！そして、レベルアップした暁にはと、想像するだけでも楽しみになります。  
 地元筑波は残念でしたがこれから先、初めてのコースが続きますが折れない心で頑張ってくれると思います。  
 シーズンが終わる頃にはもっともっと、成長しているでしょう。  
 みなさんどうか、これからもルーキー新庄 雅浩を見守って、時には厳しくそして、熱く応援宜しくお願いします。  
 さあ！次は九州だー！！

RACING SUPPLY 吉川 純治